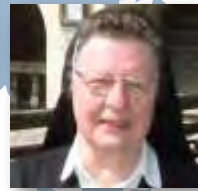
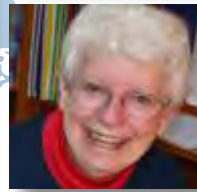




ミッションのうちに 2018年

プエルトリコ ポーランド オーストリア
 セルビア ブラジル グアム スウェーデン 日本
 ペルー イングランド チェコ共和国

ネパール



カナダ

ガーナ

パラグアイ

アメリカ合衆国

ガンビア

ホンデュラス

スロベニア

ドイツ

ケニア

シエラレオネ

アルゼンチン

イタリア

ルーマニア

ハンガリー

ベラルーシ

ナイジェリア

グアテマラ

南スーダン



全てを一つに



ミッションで一つに結ばれる

総長 シスターロクサン シャーレス

ノートルダム教育修道女会は、185年間、時代が要求する緊急のニーズに応えるミッションに携わってきました。イエス・キリストが「一つする」ために遣わされた、その同じ目的に、シスターたちは全生涯をかけたのです。10月24日、修道会の創立記念の祝いに寄せて、「ミッションのうちに」と題されたこのニュースレターをご紹介できることを嬉しく思います。これは、国際性、多言語、多文化の共同体の新しい協働作業の賜物と言えるでしょう。

1833年、現ドイツのバイエルンで、三人の若い女性たちが共同生活を始めました。教育を通して時代の必要に精力を傾けて応じるためでした。以来、修道会は成長を続けてきました。深い信仰と勇気を持っていた創立者福者マリアテレジア・ゲルハルディングーは、恐れや危険を顧みず、呼ばれた場所に赴きました。様々な背景、文化や言語の中にあつて、シスターたちはミッションという目的で一つに結ばれ、今日では、5大陸、30ヶ国で奉仕活動を続けています。

特に若人、女性、不正義と貧困に苦しむ人々に私たちは心を向けます。人が変われば世界も変わるという信念のもとに、教育活動を行なっています。教育者としての私たちは自分の存在と行動によって、世界的視野を持って、世界に対する責任を果たさなければならないのです。また、それが可能となる機会を見逃してはならないのです。

緊急かつ重大な地球的規模の問題を抱える私たちは、今、この多様性における一致を証しする必要があります。大胆に、今まで思いも及ばなかった方法で、必要に応えなければならないのです。革新的な解決策に賭ける意気込みで、私たちは違いを超え、一致を深め、更なる協力を目指します。多文化共生（インターカルチュラルリティ）の使命を果たしながら、希望の火を燃やそうとしています。これら全てを通して私たちは豊かにされ、更に深い交わりへと召されていきます。

三位の神との交わりにより、私たちは世界の核心に向かい、平和、希望、愛によって世界を変えるよう、駆り立てられています。私たちのミッションの物語が、神の普遍的な愛、全てを与えるという愛を語り伝え、その証しとなりますように。

ミッション

2018年

ノートルダム教育修道女会 (SSND) 発行

ご意見ご質問は以下のサイトまでお願いします

イタリア、ローマ総本部
gerhardinger.org

ラテンアメリカとカリブ海地域管区 (ALC)
provinciaal.org

アフリカ管区 (AF)
ssnd.org/Africa

アトランティックミッドウエスト管区 (AM)
atlanticmidwest.org

セントラルパシフィック管区 (CP)
ssndcentralpacific.org

AF, AM, CP共同サイト
ssnd.org

バイエルン管区 (BY)
schulschwestern.de

ハンガリー管区 (MG)
iskolanoverek.hu

オーストリア-イタリア管区 (OR-IT)
チェコスロバキア管区 (CE) を含む
ssnd-austria.org
skolskesestry.cz

ポーランド管区 (PO)
ssnd.pl

スロベニア管区 (SI)
notredamke.rkc.si

編集責任者：パトリシア・ストーズ

寄稿その他の協力者：

シスター ジョーン・ムクワナ・ナムラ
シスター イヴォンヌ・ノサル、
シスター シーリー・ヘインズ、
シスター M ジャスティン・イベルドル
トルーディー・ハミルトン、
ゾフィア・カトナ、
カート・ハスベル、
シスター M アドリアーナ・モデルスカ
シスター アレンカ・ジベルト

各管区の言語と英語の相互訳を受け
もって下さったシスターや一般の方々
に感謝いたします。



使命

私たちは、聖霊の力によって遣わされる。
キリストの使命を継続するように、
自分を変えられ、世界をも変えるように。
全てのもを一つにすること、
イエス・キリストが、そのために遣わされたことをめざして。

YAS会憲48

生き方を変える、世界を変える（アメリカ合衆国）

シーリー・ヘインズ

マザーキャロライン・フリスにちなんで名づけられたキャロラインセンターは、アトランティックミッドウエスト管区がメリーランド州ボルティモアで運営している施設です。ここでは女性を対象にした一般教育と職業訓練の場を提供しています。

キャロラインセンターは15週間のプログラムを年に3回開講し、看護助手や薬剤専門の職を得る女性の指導を行い、奨学金制度を設けて、授業料の無料化をはかっています。適性検査と面接によって入学資格が審査されます。昨年、オンラインで募集したところ、定員90名に対し、880名が出願しました。

キャロラインセンターは、追加的な「生活力指導」を行っていることでも際立っています。就職斡旋に力を入れていて、生徒には訓練中に、臨床実習の機会が与えられます。卒業生が経験を積めるように、最近、学術的なキャリア指導のコースを増設しました。

キャロラインセンターは何年も同じ目標を目指してきました。シスターパトリア・マクローリンは「私たちは、生徒たちのために、給料が良く、昇進制度が充実している就職先を探そうと努力しています」と話していました。シスターパットは22年間のセンター長を退職しましたが、シスターの指導のもとに、変化する時代の必要に応え、クッション詰めのような手作業から、ヘルスケアの分野へと教育の焦点を移行させてきました。その結果、シスターパットの在職中を含めて、これまでに、何千人という女性がキャロラインセンターで学び、より良い未来を目指すことができるようになってきました。



写真提供：キャロラインセンターの写真サービスマン

センターの前で生徒たちと談笑するシスターパット

教育を通して世界を変える

変化を続ける世界の必要に応じて（アメリカ合衆国）

シスタードロー・ゼラー

アメリカ合衆国、ミネソタ州マンケートのグッドカウンスル学習センターは、51年間、子どもたちや成人向けの個人指導に徹してきました。初期には、読み書きセンターと呼ばれ、1967年の重点目標は子どもたちの識字率を上げることでしたが、やがてそこから進展しました。教科も増え、成人の指導も行うようになりました。

当初は、主にSSNDがフルタイムの学校勤務を終えた放課後や夏休みの間にセンターで教え、一般教員は必要に応じて雇用されていました。現在では、定年後のシスターもクラスを担当し、長年の教師としての経験と力を活かすことのできる機会を喜び、感謝しています。

ここ10年の間に、対象や必要の変化によってセンターを利用する人々の範囲が広がりました。現在、ソマリア、スーダン、ベトナムからの家族との関わりが増え、センターやグッドカウンスルの共同体には新しい側面が加わりました。移民の生徒たちは服装や食べ物など、自国の文化を通して自分たちのコミュニティを分かち合ってくれます。かつてマザーテレジアは、ドイツ移民の子どもたちの教育のためにアメリカ合衆国にシスターたちを派遣したのですが、マザーテレジアのカリスマの躍動を今も目の当たりにする思いです。マザーの歩まれた道をたどり、継続できることを誇りに思います。



写真提供：ミネソタ州マンケートのハイド・サンブロン

サマヤがシスターテレズ・アン・ザンミラーの助けでレポートを書いているところ

男子生徒を指導して（ハンガリー）

シスターMアンドレア・イヴァニック

スペティッツ学院は、ハンガリーのデブレツェンにある、創立122年の学校で、2012年までは女子校でした。現在では幼稚園と小学校、ハイスクールでは男子も受け入れています。

2012年、50歳だった私は、男女共学のクラスの指導を始めました。マザーテレジアの教育原理に沿って、つまり、高い水準の刺激的な教育態勢、個々の生徒に目を注ぎ、愛、理解、寛容、両親との関わりを重視するものでした。

6年間で私が学んだものは以下の通りです。

1. 男子と女子の双方で、多様性の中での一致のモデルとして真のコミュニティを築くことができます。
2. 男子の感情は女子と同じくらい複雑です。
3. 性差による能力や関心の違いには、異なったプログラムを用意して対処する必要があります。
4. 教材研究と指導法の刷新が続けることが求められます。
5. ユーモアは素晴らしい教育手段です。

6年前、私は女子と共に男子生徒を教育するように神に呼ばれました。この招きに感謝しています。6年間の経験によって、私は豊かにされました。



写真提供：ハンガリー、デブレツェンのアルバート・ドウレマック、

卒業舞踏会にて。S. M. アンドレア(中央)と男子学生達

私たちの気遣いから誰をも排除せず...

YAS 会憲24

障害を持つ人々を排除せず共に生きる（ブラジル）

シスターイヴォンヌ・ノザル

ノートルダム教育修道女会は、障害者のエンパワーメントと専門職への従事を目指して、2002年、“ルモ・ノルテプロジェクト”を立ち上げました。場所はブラジル南部のリオ・グランデ・ド・スル州の州都ポルトアレグレです。

コーディネーターはシスター ドゥルセ・マリア・ボニアッティ、アシスタントはリジアネ・シルバさんです。リジアネさんはこのプロジェクトの教育面での取り組みを統括しています。

ルモ・ノルテは43種のコースを提供しています。点字、スペイン語、手工芸、パソコン、絵画、マッサージ療法、ダンス、演劇、姿勢矯正に加え、女性グループやセラピーグループもあります。

およそ193名の障害者（その多くは視覚障害）が、ルモ・ノルテのサービスを利用しています。

シスターとスタッフは、人を暖かく歓迎する雰囲気作りを心がけています。ルモ・ノルテは、自分にも、他の人にとっても居心地よさを感じることできる安全な場所なのです。



写真提供：ペルー、リマのシスターイヴォンヌ・ノザル、

シスター ドゥルセ・マリアとリジアネ

世界の中心で（ドイツ）



写真提供：ドイツのシスターM. エレスタ・メイヤー

聖堂の説明をするシスター M. エレスタ

シスターM. エレスタ・メイヤー

“巡礼地は世界の隠れた首都である”
ドイツ初代首相コンラッド・アデナウアーの言葉

私たちは1849年以来、ドイツ バイエルンの重要な巡礼地であるビルケンシュタインに住み活動しています。ビルケンシュタインのミッションは創立者マザーテレジア自身が始めました。しかし1966年、学校が大きな町へ移転してから、ここでのミッションは変わりました。

それ以来、巡礼の受け入れがミッションの焦点となったのです。現在、私たちの主な使徒職は聖堂の管理です。シスターたちは聖堂と巡礼地の環境を整える責任を担っています。

修道女としての私たちの奉仕の独特な点は何でしょうか？“世界の中心”とはどこで、私たちはどのようにそこで使徒職を果たすのでしょうか？

修道服を着ているので、人々は私たちが修道女だということがすぐにわかります。巡礼者は自分の体験を話したり、分かち合うことが必要だと感じているのです。

30年間、聖堂係をしています。私の仕事には聖堂案内も含まれています。人々はよく説明を求め、聖堂が神学的にも霊的にも貴重なものだとして理解して帰ります。

修道会が私に与えてくれた最高のミッションは：世界の中心にあるビルケンシュタインの聖堂係となれたことです。

使徒的奉仕を通じて、私たちが私たちが
出会う人々も共に豊かにされる。

YAS 会憲25

教育は世界への窓口である（ネパール）

トルーディー・ハミルトン

ネパールバンディプールのノートルダム校は32年前、山羊小屋で50名の生徒で始まりました。今日、生徒総数は820名に及びます。学校が成功した要因は、一つには、共学をはじめとする包摂化にあります。生徒の半数は女子が占めています。生徒の多くは海外の大学にも出て行きます。

シスター バーバラ・ソーティは2006年からここで教えています。彼女はバンディプールの僻地で奉仕することを選びました。実の妹であるシスター アンドレ・モリーン・ソーティが、日本での長年のミッションのうちの1年をバンディプールで過ごしたのですが、その僻地の話を姉にしていました。“とても困窮している場所でした”とシスターバーバラは語ります。

シスター方は、自分の信仰のことは、尋ねられれば話しますが、黙っていても信仰は彼女たちの生き方によって示されます。最も重要なのは教育だと彼女たちは考えているのです。

“限られた環境で肉体労働をするしかない子供たちを受け入れ、ネパール各地や海外で高等教育を受けられる機会を提供する、これは素晴らしいことです。”とシスターバーバラは語ります。



写真提供：ドイツのバンディプールのシスターバーバラ

ネパール バンディプールにてシスター バーバラと生徒

小さなセオ君の大きな1日（オーストリア）

カート・ハスベル

2歳のセオ君はとても賢い子です。牧場の動物が好きで、ブロックをつなぎ合わせていろいろなものを作るレゴ遊びが大好きです。しかしセオ君は、他の子どものように笑わず、父親に抱かれたときだけ安心するのです。けれども、一番恋しいのは本当は母親です。セオ君の母親は最近ガンで亡くなりました。それ以来、セオ君と父親は二人きりで過ごしてきました。

オーストリアのフライシュタットにあるSSND校の生徒たちが、この親子のことを知り、何とか助けになりたいとすぐに思いました。生徒たちは授業の一環として、クッキーを焼き、郷土料理を作って売りました。生徒たちの献身の結果、このチャリティープロジェクトは、かなりの収益を上げ、ちょうどセオ君の父親が必要としていた額のお金になりました。



シスター M. アントニアと小さなセオ君と父親

写真提供：オーストリア フライシュタットのSSNDハイスクールのモニカ・ホンス教諭

クッキーと料理が売れた後、生徒たちは父子を学校に招きました。オーストリア フライシュタットのウェブサイト管理者であるシスタープロジェクトに関わった誰もが、セオ君と知り合えたことを喜びました。そして与える喜びを実感したのです。この気持ちはいつまでもSSND校の生徒たちの思い出となることでしょう。

フライシュタットのウェブサイト管理者であるシスター M. アントニアは次のように感想を述べています。“創立者の福者マリア テレジア・ゲルハルディンガーは、‘少しのものしか持っていないくとも、飢えて凍える子供たちに分け与えなさい’と言いました。私たちは今でもその教えに従っているのです”。

愛によってのみ子供の愛を得られます
そして彼らの心を神に引き寄せることができます。

福者マザーテレジアの書簡4405

子供に能力を スロヴェニア)

シスター マージェッカ・ジェラリク

2009年に私たちはスロヴェニアのイリルスカ・ビストリツァにアントニーナ幼稚園を始めました。

現在、園児は48名。3クラスを6人の先生が受け持ち、私が園長を務めています。

私たちは教育者としての奉仕の人生に招かれていると信じています。そして子どもたちが頂いている可能性を十分に開花させ、その賜物で世界を変えることが出来るまでに成長するようにと助けています。



シスター マージェッカと園児たち

写真提供：アントニーナ幼稚園資料室

*福者M. アントニーナ・クラトチウィルは、第二次世界大戦中のポーランドにおける殉教者

私たちのミッション： 一つにすること (ケニア)

シスターサラ・チェブコリル

約1年前、シスター ペトロネラ・マティシとシスター ジュディス・サンブと私は、ケニアのカカミガ司教区のリクヤニにある洗礼者聖ヨハネ小教区に暖かく迎えられました。

ノートルダム教育修道女会員としての私たちへの神の呼びかけは、“一つにする”ことであり、私たち3人はキリストのそのミッションを継続するためにリクヤニにやってきました。

リクヤニの人々は多様な文化的、部族的背景を持っていて、歴史の上でも大変つらい体験をしています。2007年ー2008年の選挙後の暴動は国全体を混乱に陥れ、多くの人が心的外傷に苦しみました。命を失い、資産を奪われただけでなく、互いへの信頼も失ってしまったのです。

2017年の選挙が近づくとつれ、私たちは平和を打ち建て、和解をすすめる者として、一層の努力をしました。教区の女性や若者、子どもたちと一緒に働くとき、神の家族として一つになり、一緒に生きていくことの大切さを彼らに伝え、励まし続けました。



リクヤニの小教区の人々がシスター サラ、ジュディス、ペトロネラを歓迎し、生活用品をプレゼントする。

写真提供：ケニア、ナイロビのシスター ジョーン・ナムランダ

愛あるところに神はおられ
神おられるところに天国があります。心の中にも家の中にも。

福者マザー テレジアの書簡949

愛に溢れる家をつくる (ポーランド)

シスターアガタ・ヴォジク

私たちの“ヴィオスナ(春)”子どもの家はポーランドの南西部、クルジドゥリナ マタにあり、今年で創立75周年目を迎えます。

5名のSSNDシスターと48名の資格のある一般職員が24時間体制で子供たちの世話を当たっています。

病院で捨てられた子どもたち、親の世話が受けられない子どもたちのために、ここでは子どもの健やかな成長に必要な暖かい雰囲気が提供されています。

子どもたちにとって、シスターやスタッフは母親のようなものです。世界を学ぶのに寄り添い教育をしてくれるのです。これらすべてはマザーテレジアの精神で行われています。

1943年の開設以来、3476人(年間平均46名)以上の子ども達がここを巣立って行きました。このうち924人は愛深い家庭に引き取られました。



シスター アガタ・ヴォジクとシスター エヴェリナ・ズウネク

写真提供：ヴィオスナ子どもの家

広がるミッション

上のような報告は、この会のシスターたちの関わりのごく一部に過ぎません。私たちが行うミッションはキリストのミッション、つまり一つにするという使命です。神の呼びかけはシスターの心に、アソシエートの心に、神のミッションに共に励む仲間や協力者の心に訴え続けています。

私たちは会の創立以来、多岐に亘る使徒職の中にあっても、特に教育の営みの最前線に立ってきました。被造界と人類の聖なる歴史の決定的転換期にある今日、変容を目指す教育は変わることなく重要な役割を果たしています。

修道会として国連にNGOの立場で結ばれていること、正義・平和・被造界の統合のための国際シャロームネットワークを持っていることで、私たちは、他の人々とつながり、和解に向けての働きかけ、抑圧された人々との連帯、人間の尊厳の擁護を推進すること、被造界への配慮に向かう共同の活動において、力を合わせて行くことができます。

私たちの使命を生きる生活は、祈りと共同体と使徒職が統合されて一つになったものです。私たちがどのように使命を生きているかをもっと知りたいと思われるなら、[本会のフェイスブックページ@ssnd.global](mailto:ssnd.global)、または[修道会のウェブサイトgerhardinger.org](http://gerhardinger.org)、各管区のサイトを是非検索してみてください。info@gerhardinger.orgに尋ねていただくこともできます。

私たち一人一人が平和と希望と愛の人であるようにと祈ります。私たちは皆、招かれ遣わされているのですから。



Artist: Erich Klimek, Regensburg, 1965

列福式に使われた創立者の肖像画

呼びかけに答えて

ノートルダム教育修道女会は、深い信仰、未来に対する洞察力、そして勇気ある行動を持った人々が、神の呼びかけに応えたときに始まりました…

この人たちの行為は自分たちの生き方を方向づけ、他の人々の人生にも深い影響を及ぼす使徒的霊性によって奮い起こされたものでした…

会は今も神の呼びかけと、人がそれに応える神秘的な相互作用のうちに存続しています。

YAS 会の起源 より

心の中に神の呼びかけが聴こえますか？

この世界にどのような必要が見えますか？

どのように応えますか？



ノートルダム
教育修道女会

教育を通して世界を変える

ノートルダム教育修道女会 総本部
所在地： via della Stazione Aurelia, 95
00165ローマ、イタリア